

宮城県林業普及活動情報

2026. 4 月号 No. 215

もくじ

各地の林業普及活動情報	P2~6
○大河原産業高等学校への林業関係実習等の実施に関する打合せ (大河原地方振興事務所)	
○食の安全・安心確保のための直売所等巡回指導 (仙台地方振興事務所)	
○「みやぎの木づかいOke Lab in 浦霞」で木づかい文化発信 (仙台地方振興事務所)	
○共有林施業に関する制度活用支援 (北部地方振興事務所)	
○山菜販売のための直売所巡回指導 (北部地方振興事務所栗原地域事務所)	
○適切な病害虫害防除事業に向けて (北部地方振興事務所栗原地域事務所)	
○特用林産物における放射性物質のモニタリング検査に関する打合せ (東部地方振興事務所)	
○松くい虫被害木の伐倒駆除（へり搬出）に係る漁協への説明 (東部地方振興事務所)	
○「東北農林専門職大学インターンシップ」の支援 (東部地方振興事務所登米地域事務所)	
○南三陸林業フェスティバルへの出展 (気仙沼地方振興事務所)	
○みやぎ森林・林業未来創造カレッジ「スタートアップ研修」開催 (林業技術総合センター)	

大河原産業高等学校への林業関係実習等の実施に関する打合せ

大河原地方振興事務所

【7日（火）】

当事務所では例年、県内で唯一林業関係科を有する大河原産業高等学校に対して、森林・林業に対する興味・関心を深めてもらい、林業関係への新規就業者を確保する目的で、学校では行うことができない森林・林業に関する実習等を実施しています。実施内容は学校側の要望に応じて検討しているため、担当の先生と打合せを行いました。

その結果、林業を専攻している2年生と3年生に対しては高性能林業機械の操作体験や木質バイオマス関係施設の見学等を実施することとし、今後、実習場所や協力機関との調整を行っていきます。また、林業を専攻する前の1年生に対しては、進級時に林業関係科を専攻してもらうため、森林や林業に関するPR活動として、森林整備を行った施業現場の見学を実施することとし、現場の提供や説明に協力いただける事業主体を検討していきます。



【打合せの様子】

食の安全・安心確保のための直売所等巡回指導

仙台地方振興事務所

【14日（火）】

多くの山菜が流通するゴールデンウィークを前に、管内の農産物直売所等を巡回し、山菜類に関する安全の確保について指導しました。

県内で出荷制限となっている品目の流通防止、販売物の安全性の確保について、取扱表を基に担当者へ説明し注意を継続していただくようお願いしました。

直売所からは、「出荷者に対し採取場所の聞き取りを実施するとともに、出荷制限品目の説明をしている」との話を受けました。

引き続き、特用林産物の振興、安全・安心の確保に向けた取組を実施していきます。



【直売所担当者への指導】

「みやぎの木づかいOke Lab in浦霞」 で木づかい文化発信

仙台地方振興事務所

【29日（水）】

4月29日（水・祝）に「浦霞蔵まつり2026」の会場で「みやぎの木づかいOke Lab in浦霞」を実施しました。

木桶プロジェクトの一環として実現したもので、酒蔵における伝統的な木材利用方法や機能性を来場者に伝えることで、木づかい文化の継承に寄与することを目的として行いました。

県産木材に親しみ、木の良さを体感していただくため、木製射的、木製ガチャ、育樹祭のバックパネルのコースター製作、竹籬（たけたが）フラフープ等を実施しました。

当日は、雨天にもかかわらず、400名を超える来場者が木づかいコーナーを訪れ、木桶を通じた木づかい文化に関心を持っていただくことが出来ました。



【子ども達に好評の木桶を的にした射的】



【大人にも好評のコースター製作】

共有林施業に関する制度活用支援

北部地方振興事務所

【21日（火）】

共有林の施業について、大崎市に森林経営管理依頼があったため、令和8年3月に森林所有者、民間事業者、市、県の関係者で森林の状況を確認しました。それらを踏まえ、搬出間伐や保育間伐を行うため、森林経営計画の対象森林とすること、国庫補助事業を活用すること、森林経営管理制度を活用することについて意見交換を行いました。

森林所有者と民間事業者をマッチングし、補助事業の活用について具体的な検討を行うことができました。



【関係者を参集した施業内容検討状況】

山菜販売のための直売所巡回指導

北部地方振興事務所栗原地域事務所

【2日（木）】

春の山菜シーズンを迎え、放射能汚染への対応が必要となる中、改めて適切な出荷販売管理の周知・徹底を図るため、販売所を巡回し、品目ごとの取り扱いの留意点などを説明しました。また、販売開始前の検査手続きについてもご理解をいただくなど、円滑・適切な山菜の販売に向けて支援しました。



【出荷制限品目などについて説明】

適切な病害虫防除事業に向けて

北部地方振興事務所栗原地域事務所

【30日（木）】

栗原市の森林病害虫防除事業について、市担当者と事業目的や防除方法、年間スケジュールを確認しました。また、直近の防除事業実施個所では、新たな枯損木が見つかるなど、適切な防除には、調査や対応スケジュールの段取りが大切なことを指導助言しました。

今後も、効果的な防除体制の構築を目指して市との連携を図っていきます。



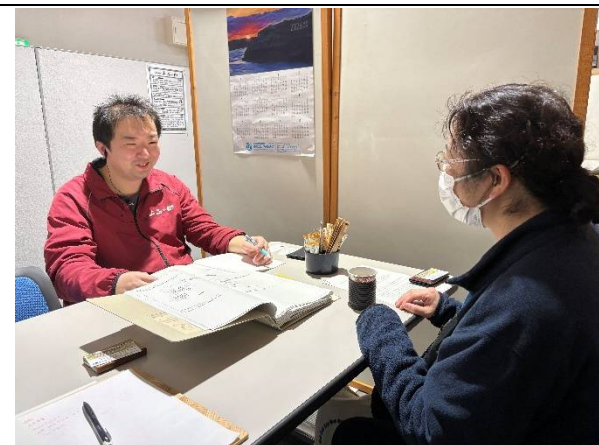
【新たな被害木の確認状況】

特用林産物における放射性物質のモニタリング検査に関する打合せ

東部地方振興事務所

【8日（水）】

春の山菜やたけのこの発生時期を迎えるに当たり、安全・安心な野生山菜等を消費者に提供するため、放射性物質のモニタリング検査への協力について、管内の流通関係者と打合せをしました。今シーズンも継続して協力いただけることとなり、特用林産物の安全性の確保を図ることができました。引き続き特用林産物の生産振興に向けた取組を実施していきます。



【打合せの様子】

松くい虫被害木の伐倒駆除（ヘリ搬出）に係る漁協への説明

東部地方振興事務所

【22日（水）】

令和8年度森林病虫害等防除「春季伐倒駆除」業務委託に伴う松くい虫被害木のヘリコプター搬出の概要について、東松島市宮戸地区の2漁協に対し、スケジュール等の説明を行いました。

当事務所からヘリ搬出の日程や留意点等についての説明を行った結果、2漁協とも理解を得られました。また、地元漁協からこれからの作業や漁の内容について情報提供いただくとともに、漁業者への周知等に協力いただけることとなりました。



【漁協への説明の様子】

「東北農林専門職大学インターンシップ」の支援

東部地方振興事務所登米地域事務所

【27日（月）、28日（火）】

登米市内森林組合の担い手確保を目指して、登米市出身の東北農林専門職大学の学生に職業として森林+林業＝「森林業」を意識してもらうためのインターンシップの受け入れ支援を行いました。

初日に当所から登米市の森林・林業の概要について説明し、翌日は登米市内の森林造成のために植林される苗木の生産現場を視察しました。

今回は年間30日間の日程で行われるインターンシップの導入部で、今後は各森林組合において実際の業務等に従事しながら登米地域の森林・林業や森林組合の仕事について理解を深めてもらいます。



【森林・林業の概要に関する講義】

南三陸林業フェスティバルへの出展

気仙沼地方振興事務所

【26日（日）】

当所のブースでは「なりきり林業キッズ」や株式会社椎彩杜から仕入れた「しいたけの試食」、「モルック体験」などを出展しました。強風により予定していたドローン体験は中止となってしまいましたが、フェスティバル全体の来場者数は365人にのぼり、当所のブースも多くの来場者で賑わいました。

体験を通じて、次世代を担う子供たちに林業の魅力を感じてもらうことができました。



【しいたけの試食コーナー】

みやぎ森林・林業未来創造カレッジ 「スタートアップ研修」開催

林業技術総合センター

【10日（金）】

この春から県内の林業事業体に新たに就業した方向けに「スタートアップ研修」を開催しました。

9名の受講者は4日間の研修で林業関係の基礎知識を学び、刈払機とチェーンソーの資格を取得しました。

当センターでは林業や木材の基礎知識等について講義を行い、受講者の知識習得を支援しました。

今年度も未来創造カレッジの研修を通じて林業就業者等の技術・知識の習得支援に取り組んでまいります。



【伐倒実習状況】



【講義の状況（木材）】